



陳情 2 第 22 号



2020年(令和2年)11月24日

野猫の給餌制限に関する 陳情

藤沢市市議会 議長 加藤 一様

かんきょう <sup>がくこう</sup> 薬行 ふじさわ

市民活動登録番号：20125

(代表) 岩下 次郎



藤沢市本藤沢 3-10-2

[陳情項目]

野猫の給餌を制限する規制を市に働き掛けてください。

[陳情理由]

11月15日報道によれば、香川県は鳥インフルエンザ遺伝子検査で高病原性の疑いがあるウイルスを検出し、県は養鶏場の鳥の殺処分を始めたとしています。

環境省では10月30日、野鳥サーベイランスを「対応レベル2」に引き上げています。

申請人居住区善行地区自治会では、野猫の給餌自粛を徹底するよう呼び掛けていますが、一向に効果を上げられていません。

ことに、猫が食べ残した餌を、カラスが器ごと持ち去る事態が頻発しています。感染症蔓延のコロナ渦にあり、市民への啓発・警告は必須と考え強く要求します。

【注記】サーベイランス (surveillance) とは調査監視のこと。一般に経済や感染症の動向を調査する場合に使用される。

[厚労省] 感染症サーベイランスとは、インフルエンザを含め、患者の発生情報を統一的な手法で持続的に収集・分析、疾病の予防と対策のためにするもの